

平成20年度 第1回 江別市民健康づくり推進協議会 議事録要旨

【日時】平成20年6月23日（月）18:30～20:00

【場所】江別市保健センター3階会議室

【出席者】委員13名

平賀会長、桑原副会長、山口委員、伊藤（雅）委員、山野井委員、村中委員、高塚委員、伊藤（真）委員、蛭名委員、中野委員、杉委員、服部委員、多田委員

【事務局員】8名（斉藤部長、佐々木次長、鈴木センター長、池田参事、山田主査、江川主査、竹内主査、斉藤係長）

【傍聴者】なし

【開会】

【委嘱状交付】

鈴木センター長：5月22日の協議会委員任期満了に伴い、新委員の皆様に委嘱状を交付します。

【健康福祉部長挨拶】

【委員及び職員紹介】

【会長・副会長の互選】

鈴木センター長：協議会規程に基づき、会長・副会長の互選を行うため、委員に意見を求めます。

村中委員：自薦、他薦がなければ、事務局案の提案をお願いします。

鈴木センター長：会長を社団法人江別医師会の平賀俊尚委員に、副会長を江別市食生活改善協議会顧問の桑原啓子委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員一同：意義なし。

平賀会長：挨拶

桑原副会長：挨拶

【議事】

1. 平成19年度保健事業・健康づくり推進事業報告について

2. 平成20年度保健事業・健康づくり推進事業計画について

平賀会長：一括説明願います。

鈴木センター長：保健センター組織及び事務分掌について説明。

池田参事：健康づくり推進事業について説明。

竹内主査：母子保健事業について説明。

山田主査：成人保健事業について説明。

斉藤係長：高齢者インフルエンザ予防接種、精神福祉関連事業について説明。

平賀会長：説明のあった事業報告及び事業計画について、意見、質問があれば発言願います。

平賀会長：平成20年度の母子事業で、産婦人科医の問題があるが、医療機関との連携はどのように進めるのか。

鈴木センター長：現状において市内に産婦人科が1件で、2次医療が心許ない状況であります。札幌医師会に連携をお願いしていますが、厳しい状況で、引き続き、医師会のお力も借りながら、道央圏とか石狩圏といった考え方で、対応していただきたいという協議をさせていただいています。

伊藤（真）委員：はつらつ教室は、コミュニティセンターとか公民館で開催しないのか。

池田参事：はつらつ教室では、週1回の会場使用があり、公民館での開催は、実質的に難しい。

伊藤（真）委員：地域で偏りがあり、高齢者の参加が難しいので、規模を縮小してでも開催場所を増加できないか。

池田参事：参加者には、最高年齢で80歳代の方もいらっしゃる、会場まで歩くということも、運動の一環と考えている。

鈴木センター長：健康づくりプランの中間評価であり、まさに、今のご意見も、ビジョンに反映させていけないかと考えています。

3. えべつ市民健康づくりプラン21中間評価について

鈴木センター長：えべつ市民健康づくりプラン21の中間評価について説明。

平賀会長：説明のあった中間評価について、意見、質問があれば発言願います。

伊藤（雅）委員：評価スケジュールでは、2月に評価結果報告となっているが、予算が決まる前に、結果報告等の情報提供と見直し案を審議できるよう要望します。

鈴木センター長：最終的に2月の議会に報告する予定で、10月までにはアンケート結果をご報告できると考えています。12月、1月までに、素案をお示しして、意見を頂戴し、2月には、成案に近い叩き台を提示したいと考えています。

平賀会長：意見を踏まえて、早めに進めて欲しいと思います。

鈴木センター長：伊藤（真）委員からご意見のあった、次期の見直し計画は、北海道の計画を参考に、極力コンパクトな形にしたいと考えています。

平賀会長：その他で事務局から何かないか。

鈴木センター長：次回、推進協議会の開催は、11月頃を予定しています。先ほどのご意見を踏まえ、早めての開催を念頭に入れて進めたいと思います。

平賀会長：本日の協議会をこれにて終了いたします。

【閉会】